

## 議題 2

### 都市景観アドバイザー部会の開催状況及び協議事項について 【報告】

#### 目 次

1. 都市景観アドバイザー部会の開催状況について
2. 都市景観アドバイザー部会の協議事項について

## 都市景観アドバイザー部会の開催状況について

平成 26 年 12 月 1 日から平成 28 年 11 月末日までの開催状況は下記のとおり。

記

### 1. 開催実績

【区分】 民間：民間建築物 公建：公共建築物 公空：公共空間整備

年度	開催日	区分	議 題	敷地面積 建築面積	出席委員 (敬称略)
H26 年度 第 3 回	平成 27 年 1 月 23 日	公建	市営甲子園春風町団地 第 1 期建替事業	9,511.76 m <sup>2</sup> 2,788.70 m <sup>2</sup>	安田、白井、 神農
H27 年度 第 1 回	平成 27 年 8 月 10 日	公空	阪神甲子園駅 西改札口前広場整備	— —	安田、白井、 赤澤、栗山、 神農
		民間	武庫川団地『あおぞらのまち』 外観色彩変更計画	— —	
H27 年度 第 2 回	平成 27 年 10 月 2 日	民間	高速道路内管理施設新築及び 改築工事事業	90,275.90 m <sup>2</sup> 6,090.75 m <sup>2</sup>	安田、白井、 赤澤、神農
		公空	西宮浜総合公園及び 御前浜公園整備事業	165,000.00 m <sup>2</sup> —	
H27 年度 第 3 回	平成 27 年 11 月 26 日	公建	新川、東川統合排水機場及び	—	白井、赤澤、 栗山
		公空	新川水門の新設事業	—	
H27 年度 第 4 回	平成 27 年 12 月 21 日	民間	西宮北口 B 街区計画 (高さ 44.50m)	2,144.28 m <sup>2</sup> 1,680.00 m <sup>2</sup>	安田、白井、 赤澤、栗山、 神農
		公建	瓦木消防署甲東分署新築工事 (高さ 11.96m)	1,076.67 m <sup>2</sup> 424.61 m <sup>2</sup>	
H27 年度 第 5 回	平成 28 年 2 月 15 日	公建	むつみ保育所・むつみ保育館・芦原保 育所総合施設新築工事(高さ 14.68m)	2,678.84 m <sup>2</sup> 887.56 m <sup>2</sup>	安田、白井、 赤澤
		公空	西宮浜総合公園及び 御前浜公園整備事業	165,000.00 m <sup>2</sup> —	
H28 年度 第 1 回	平成 28 年 7 月 20 日	公建	新川、東川統合排水機場及び	—	安田、白井、 大平、神農
		公空	新川水門の新設事業	—	
H28 年度 第 2 回	平成 28 年 10 月 7 日	民間	武庫川団地 色彩計画	— —	安田、白井、 神農
		公建	西宮市消防訓練施設整備事業 (高さ 23.3m)	7,000.00 m <sup>2</sup> 304.00 m <sup>2</sup>	
H28 年度 第 3 回	平成 28 年 10 月 24 日	民間	ホームセンター新築工事	11,596.07 m <sup>2</sup> 6,282.08 m <sup>2</sup>	安田、白井、 栗山、大平
		公建	香櫨園小学校校舎改築工事	10,842.00 m <sup>2</sup> 3,112.52 m <sup>2</sup>	

## 2. 開催予定

【区分】 民間：民間建築物 公建：公共建築物 公空：公共空間整備

年度	開催日	区分	議題	敷地面積 建築面積	出席委員 (敬称略)
H28年度 第4回	平成28年 11月29日	公空	横断歩道橋における標準色の 検討について	— —	安田、白井、 大平
		公空	旧芦原小学校グラウンド 再整備計画	— —	

以上

都市景観アドバイザー一部会 協議事項報告

開催	議 題		敷地面積 / 建築面積	インデックス番号
	意 見 項 目		検 討 結 果	
平成 26 年度	第 3 回	<b>市営甲子園春風町団地第1期建替事業</b> ・地域への貢献を考慮し、敷地内の歩道を道路側に配置し道路側に配置した方がよい。 ・敷地南側歩道と敷地内通路に一体感を持たせるデザインとしてはどうか。 ・妻側にも窓を設け、明かりが漏れる温かみのあるデザインとしてはどうか。 ・外壁の同面で色分けするのは不自然な印象を受ける。 ・外壁の下段に濃い色、上段に行くほど明るくする色使いにしコントラストを弱めた方がよい。 ・敷地内児童遊園と南側にある春風公園の動線に配慮すること。	9,511.76㎡ / 2,788.70㎡	1
		・植栽帯の位置を調整し、北側の敷地内遊歩道を道路側に寄せた。 ・敷地南側の歩道と敷地内通路に一体感を持たせたデザインとするよう、高木を南側へ寄せた。 ・同面ですが、縦目地で色分けした。 ・下段（1階部分）に濃い色を、上段に行くほど明るい色を使用する色彩計画とした。		
平成 27 年度	第 1 回	<b>阪神甲子園駅西改札口前広場整備</b> ・クスノキ・マツは共存しにくいので、Dゾーンはクスノキ、土手の記憶ゾーンはクロマツとしたほうがよい。 ・球場をデザインモチーフにしているので、つた類を使った緑化も良いのではないかと。 ・円形広場中央にシンボルツリーがある方がよい ・店舗など建築物は広場や駅舎と一体感のあるものとし、既存建物と同じレンガ調でまとめた方がよい ・円形広場とアプローチ道路は円形広場の同心円で横ボーダーに舗装パターンした方がよい。舗装材には歩きやすいものと選定するとともに、甲子園の歴史がわかるものなどを舗装に埋め込むとよい ・排水はスリット側溝を使用するなど目立たずスムーズな勾配の計画としてほしい。 ・照明灯は、歩行者から見てグレア（まぶしさ）のないものを選んでほしい。 ・照明灯ポール、防護柵やゲートなど工作物要素が多く緑が少ないので整理をした方がよい ・歩道やバス乗降場についても広場と一体感のある舗装とすること。 ・円形広場の東側にあるシェルターは、意識させないデザインのほうがよい。	— / —	2
		(継続協議中)		
平成 27 年度	第 1 回	<b>武庫川団地『あおぞらのまち』外観色彩変更計画</b> ・外壁色には、高彩度色をサイン的に使う方法と、建物の識別のために鮮やかな色を薄くして建物の壁面にのせる方法との2通りがある ・建物本体の躯体の色を薄くかえて、上層部分は空に馴染むように明るくした方がよい ・ベース色が白すぎる。明度を落とすべき。 ・棟ごとに色を変えるのであれば、主として近景の低層部分で使うほうがよい ・面を分けて色を塗り分けるのではなく、壁面や手摺やパネルの部位で塗り分けるべき ・妻壁の低層部に鮮やかな色を部分的に使っても、全体としては彩度を下げるべき ・共用部の照明は、暖色系にすれば夜景を美しく見せることができる。	— / —	3
		[超高層棟] ・街のアクセントカラーを上階の手摺パネル部分に加え、遠景からの視認性を高める工夫を行った。 ・街のサブカラーを低層部分と梁部分に配色し、近景でもまちのカラーを感じられるような計画にした。 ・ベース色をN9からN8.5およびN7.5に変更し、また低層部のサブカラーの明度も7以下に抑えた。 ・手摺、パネルをN8.5に、壁面をN7.5に塗り分けて視覚的に立体感を出し、バルコニー面が単調にならないようにした。 ・妻面はE VシャフトをN7.5、住棟外壁をN8.5にして面を分節し圧迫感を軽減する配慮を行った。 [高層棟] ・まちのアクセントカラーは超高層棟に採用しているため、あえて高層棟には使用しない計画とした。 ・ベース色をN9からN8.5に変更した。 ・照明は超高層棟、高層棟とも、各住棟の共用部照明については、順次温白色のLED化工事を実施予定。		

都市景観アドバイザー一部会 協議事項報告

開催	議 題	敷地面積 / 建築面積	インデックス番号
	意見項目	検 討 結 果	
平成 27 年度	<b>高速道路内管理施設新築及び改築工事事業</b> ・既存建築物に色彩にあわせるべき。濃い色を使うなら1階のみとするべき。 ・同じ色彩にして素材で変化を出したほうが上品な感じになって良い。 ・維持管理棟は高速道路から見えるので、屋根勾配を逆にして、折半の屋根の裏面を見せないようにするべき。 ・建築物の前面は高木を中心とした植栽を行い、エッジを隠すことや分節化することで圧迫感を軽減することが可能	90,275.90㎡ / 6,090.75㎡	4
	<b>西宮浜総合公園及び御前浜公園整備事業について</b> ・ほかのモデルとなるような公園デザインにして欲しい。長期事業なので市民の関心や参加意識が重要になる。 [御前浜公園] ・現状の資源を評価して何を加え何を減らすか検討すべき。西宮砲台の土塁の復元など遺産を活かす整備とすべき。 ・小径は緩やかなカーブを描き緑石を用いないなど、自然な線形とし、カーブに合わせた松の木の配置とすべき。 ・海辺の柔らかな景観形成ために、広場の材料は錆御影石雑石を基調とし、全体的に自然な雰囲気にした方がよい。 ・夜間照明の明暗差を大きくすると、防犯について懸念があるので配慮すること [西宮浜総合公園] ・構造物は錆御影石雑石を基調に、全体的に角が取れた柔らかい雰囲気にした方がよい。 ・少し緑量のある計画とした方がよい。 ・サクラの形に似たエノキを植えて、落葉樹の林の景観に混ぜながら、花木を目立たせると遠景がよくなる ・柔らかな遠景の演出のために、フェンスやシェルターなど工作物周辺は、高木による緑化をした方がよい。 ・多目的広場南側も緑化したほうがよい。 ・プレイパークは遠景への配慮をしつつ、子どもたちが自由な遊びができるよう段階的に作り変えて行くべき。 ・ポール照明とフットライトなどを配置した夜間景観を演出し、光色は2800K付近の温かい方が景観的に良い。	165,000.00㎡ / —	5
		(継続協議中)	

都市景観アドバイザー一部会 協議事項報告

開催	議 題 意見項目	敷地面積 / 建築面積 検 討 結 果	インデックス番号
平成 27 年度 第 3 回	<p><b>新川、東川統合排水機場及び新川水門の新設事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今津灯台はシンボリックな景観であり、西宮の発祥の原点のような場所である。特別なエリアだという意識を持って、安全安心と景観に折り合いをつけた計画とすべき。</li> <li>・水門と排水機場はランドスケープとして一体となるよう、全体で景観検討を行った上で設計を行うべきものである</li> <li>・現在の明るく広がりのある空間とあまりにちがって無神経な計画である。</li> <li>・立入禁止エリアは必要最小限に止め、緑地など緩衝帯を設けることなどが最低限必要</li> <li>・あらかじめ市民の見学路を計画しておくべき</li> <li>・市民が先端へ行けて海に近寄れるようにクロマツ並木とすると景観的にも良くなる。</li> <li>・水門の東側にもクロマツを植えられたら良いと思う</li> <li>・市民の立入りエリアを広場的に整備し、新たな視点場を作るという意識が必要。</li> <li>・水門の柱の切妻屋根の建築物が景観にあっていない。</li> <li>・機械室が上屋にないタイプの検討するか、上屋と門柱とを一体的なすっきりとした土木構造物とし、機能美・構造美として見せることが必要。</li> <li>・色彩は土木構造物らしく、ボリューム感を軽減し汚れが目立たない白系が良い</li> <li>・灯台の位置は、一般の人が入ってきても、これまでの風景が味わえないのであれば、水門よりも海側に今津灯台を設置してはどうか。</li> <li>・歩行者空間と灯台の足元の一体的な（石材など自然素材での）処理を求めたい。</li> <li>・排水機場は細かな建築要素を減らし、下から上まで分節化する、最上部をガラスのライトハウスとするなど、大胆にデザインし、海辺の新たな魅力を創出してほしい。</li> <li>・地元住民への説明は早期に行うべき</li> <li>・風景に愛着を持つ市民や歴史愛好家も多い。新たな景観を作る観点で計画すべき。</li> <li>・ネーミングライツはそもそも集客施設で取り入れるものである。広告物を整理して景観を良くしていく流れの中で、土木構造物を広告塔化するというのはいりえない。</li> </ul>	<p>— / —</p> <p>(平成28年度アドバイザー一部会へ継続)</p>	6
	<p><b>西宮北口B街区計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅都市の西宮であるので、広告物の掲出は極力控えるべき。特に北側は住宅地もあるので、大きな広告物は掲出を控えるべき。</li> <li>・内貼り広告物については、運用でしっかり対応して欲しい。</li> <li>・西立面は駅前広場まわりの温かさを演出するデザインとなるよう検討して欲しい。</li> <li>・配置されている横ルーバーは、間隔が荒く下地が見える。改善を検討すべき。</li> <li>・中木の単色植えは安っぽいイメージになるので、他の樹種を混ぜる方が良い。</li> <li>・歩道状空地は既存の歩道舗装と同じ素材を使った空間とした方が良い。</li> <li>・敷地南側の駐車場、駐輪場部分についての見え方が薄暗くならないように十分配慮していただきたい。</li> </ul>	<p>2,144.28㎡ / 1,680.00㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サインの大きさは景観に配慮して決定する。</li> <li>・内貼り看板については、景観に配慮し、運用にて対応する。</li> <li>・西立面は温かさを演出するため、外壁の色を一部アースカラーとした。</li> <li>・樹種を混ぜるように計画した。</li> <li>・照明の設置等により、駐輪場が薄暗い空間とならないように配慮した。</li> </ul>	7

都市景観アドバイザー一部会 協議事項報告

開催	議 題	敷地面積 / 建築面積	インデックス番号
	意見項目	検 討 結 果	
平成 27 年度 第 5 回	<b>瓦木消防署甲東分署新築工事</b> ・建築基準法上、本来建てられない物件であることを考えれば、周辺景観へより配慮した計画とするべき ・関西学院と調和した景観計画とし、周辺と異なる濃い色彩とすべきではない。 ・北側はアイストップであるので、そのことを意識した外観とし、周辺景観への調和を考え懸垂幕は遠慮すべき ・現代的なデザインにするのではなく、大学のキャンパスに調和した昭和初期のモダニズムデザインとすべき ・ほとんどが常緑樹であるため、落葉樹を植えるべき。関西学院から続く道路際については、連続的な景観を作る観点から6m間隔でケヤキを植えるなど、周辺環境と調和した植栽計画とするべき。 ・擁壁の仕上げは現代的で硬い。サビ御影など花崗岩の乱積みにするか、つる系植物で壁面緑化すべき。 ・メッシュフェンスは周辺の景観に合わせてもっと濃い色を選ぶべき	1,076.67㎡ / 424.61㎡	8
	<b>むつみ保育所・むつみ保育館・芦原保育所総合施設新築工事</b> ・街角は重要。南西角はシンボルツリーを植えるなど歩行者のための緑豊かな空間とするべき。 ・通路と敷地内歩道は一体の舗装仕上げにしたほうがよい。 ・駐車スペースの配置を工夫すれば、植栽スペースと歩行者だまりをもっと創出できるはず。 ・フェンスは、道路際に設置するのではなく植栽の裏側に設置するべき。 ・園庭東側にケヤキを植栽するなど、キッズパーク側の緑と一体的な空間形成を図るべき ・園庭西側の県道沿いにもケヤキを植栽し、外側に緑を見せるべき。 ・低木は花が長期間咲くものがふさわしい。 ・保育所のエントランスの庇は場所にふさわしくない。 ・立面デザイン要素が多いので、もっとシンプルにしてはどうか。 ・遊戯室の屋根は、ルーバー同様のシンプルなデザインにし、高さや色を揃えたほうがすっきりしてよい ・外壁のコンクリート打ち放しと塗装の区分は、もう少し法則性をもって行うべき	2,678.84㎡ / 887.56㎡	9
	<b>西宮浜総合公園及び御前浜公園整備事業について</b> ・設計に当たっては、まち～防波堤～海面までを断面で検討を行うべき。 [御前浜公園] ・防潮堤上のセンダンの代わりに海辺にふさわしいクロマツの苗木を植えるべき。 ・展望広場のベンチの足置き場は芝ではなく石を敷く方がよい。 ・トイレは妻面が無表情なので、明り取りの窓を設けるとともにケラバを伸ばしてはどうか。 ・エントランス広場の留石に切り込みを入れ、自転車止めできれば、デザイン的にもお洒落で良い [西宮浜総合公園] ・ハーフグラウンド北西の石積み擁壁は、直交部分を面取りしなめらかな動線にしたほうが柔らかくなる。 ・遊びの広場は、コンセプトに合わせて植栽の配置などをきちんと表現すべき ・公園センターの屋根は海に向けて勾配をつけるべき。 ・公園センターの北側のテラスを広くして室内と一体的に利用できるようにしてはどうか。 ・北多目的広場の南側に高木などの植栽をできないか。	165,000.00㎡ / —	5

(継続協議中)

都市景観アドバイザー一部会 協議事項報告

開催	議 題	敷地面積 / 建築面積	インデックス番号
	意見項目	検 討 結 果	
平成 2 8 年 度	<b>新川、東川統合排水機場及び新川水門の新設事業</b> ・操作室の柱体直上部は、柱の部分と同様にRC造にするべき ・ALC板はメタリック調の色彩とし、ALC部とRC部の取り合いは100mm程控えて影を作りだすことで、水門柱体を強調すると良い。 ・ステンレス目地棒は、均等な分節配置とし、型枠のセパ穴は、柱体部と配列を合せてデザインの一部とするべき。 ・水門に存在感を持たせるために、水門に護岸が取り付けしていく形にするのが良い。 ・水門基礎部の角部分は、大きな面取りをして柔らかさを出した方が良い。 ・敷地全体を計画的な照明として欲しい。 ・白いメッシュフェンスでなく、亜鉛メッキ色等周囲に馴染む色合いのものにした方が良い。 ・中途半端な植栽ではなく、大きな高木を何本か植えるなどの検討をして欲しい。 ・灯台は、文化財的価値も維持しつつ現役灯台として存続する移設計画を立てた上で後日報告とする。 ・灯台の現位置にも、メモリアルを整備するべき ※以上の意見を踏まえ、県で全体計画を検討の上、再度アドバイザー一部会にかける。	— / —	6
	<b>武庫川団地 色彩計画</b> ・はなのまちのアクセントカラーは色が濃い。上部は明度を高く、彩度を低くするとしたほうが良い。 ・出隅で塗り分けるのは避け、ワンスパン控えるなどの検討が必要。 ・柱型の面ごとの塗り分けや壁面の同面での塗り分けも不自然である。 ・12号棟、1号棟についてもアクセントカラーの明度彩度を下げる検討が必要。	(継続協議中)	3
	<b>西宮市消防訓練施設整備事業</b> ・見学を想定した建物配置とし、市民の見学のための溜まり空間をあらかじめ検討しておいても良いのではないかと。 ・訓練施設であるので、メンテナンスフリーを基本に、素材を素直に表現するようにして欲しい。 ・外壁と同面のベランダの色の塗り分けは避けるべき。 ・消火栓など立ち上がるものについても色彩をデザインして計画して欲しい ・既存樹は樹形を整えるための整枝剪定をすることとし、ウルシのみを撤去すること。 ・南東角地にシンボルツリーを植樹してはどうか	7,000.00㎡ / 304.00㎡	10

開催	議 題	敷地面積 / 建築面積	インデックス番号
	意見項目	検 討 結 果	
平成 28 年 度	<p><b>ホームセンター新築工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生木ルーバー部との相性と南部市街地の錆御影の色合いから考えると、外壁のメイン色はN系に少しYR系の入った色にする方が馴染みが良い。</li> <li>外壁全体にエレメントが多すぎるので整理が必要。</li> <li>壁面緑化を行うのは南東角のルーバー部の方が効果的。</li> <li>壁面緑化を現位置で行うのであれば、ルーバー部より少し前に出し緑化のボリューム感をだす方が効果がある。</li> <li>建築物に付属するフェンスは、ブラウンではなく亜鉛メッキ色またはステンカラーにした方が存在感がなくなり良い</li> <li>壁面看板の地色は外壁の色に馴染むものとし、文字情報を減らして効果的な看板を目指すべき</li> <li>壁面看板によっては店舗名より大きい文字があるのに違和感がある。</li> <li>建植看板は全体に文字の割付幅を同じにし、文字情報を減らして分かりやすい看板を目指すべき</li> <li>建植看板の両サイドの柱部分はルーバーと同色とした方が良い</li> <li>案内誘導サインはシンプルかつ统一的にデザインし配置すること。</li> <li>南東角の緑地スペースを大きくし看板の後ろ側を高木で巻く方が、看板の効果も上がって良い。</li> <li>道路沿い植栽帯は他の樹種との相性を考慮し植栽を行うべき。</li> <li>北面植栽は日当たりを考慮する必要がある。</li> <li>レッドロビン、生垣には良いが中木として使うには適していない。高木との相性を考慮したほうが良い。</li> <li>低木の単色植えは深みがない。例えばヒラドツツジの箇所はドウダンツツジを混ぜる方が良いと思う。</li> <li>エントランス西側に大きな無窓壁面前に、ケヤキなどのシンボルツリーを植栽してはどうか。</li> </ul>	11,596.07㎡ / 6,282.08㎡	11
	<p><b>香櫨園小学校校舎改築工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>完成度の高く大人のデザインであるが、小学校と言う性質上もう少しヒューマンスケールのデザインとしても良いのではないか。手すりや建具等で工夫をして欲しい。</li> <li>西宮市の南部市街地のまちは、六甲山の錆御影石からくる色合いが基本である。建築物の色合いはもう少しアースカラーにシフトし柔らかな色合いにすべきではないか。</li> <li>横断歩道もあることから、北西角に既存のクスノキを取り込む形で街角広場を設置してはどうか。</li> <li>北側道路に面する外構には、北側の和風の住宅の庭との調和を考慮しクロマツを植えてはどうか。</li> <li>中庭には是非とも樹木の植栽が必要。1本ではなく数本植えてはどうか。</li> <li>ナナカマドは樹形が暴れるので、校庭に面する直列の植栽には向かない。ナンテンやエゴノキとしてはどうか。</li> <li>観察池は、円形の単断面では魚の生息が難しい。石を使った出入りのある断面とするべき。また木陰は必須。実のなる木を植えてはどうか。</li> </ul>	10,842.00㎡ / 3,112.52㎡	12

(継続協議中)

(継続協議中)